

いのちのおはなしワークショッププログラム

現代の社会は、子どもを取り巻く社会や子ども自身の変化から、子どもが心身ともに健全に成長するために解決すべき問題が山積しています。学校教育においては、生命尊重の教育や環境づくりが重要なことは周知の通りであり、重点的に取り組まれているところです。しかし、家庭では、母親・父親の自己肯定感の欠如により、子育てへの自信のなさ、相互を尊重し高めあう家族力の低下が目立ち、子どもの自己肯定感の育成を妨げる要因になっていると思われます。これらのことから、「いのちのおはなしワークショップ」を通し、親が自信を持って子どもに向き合い、子どもが安心して生活できる家庭の構築や複雑な環境の中でも心が折れずに育つ子どもの支援として、一助を担えることを祈念し下記のプログラムを提案するものです。

1 母親のプログラム

〈対象〉

・乳幼児の母親(乳児同伴も可) 15組程度

〈目的〉

・母親が、いのちをつなぎ、かけがえのないひとつのいのちを生み出した自らを肯定し、いのちをはぐくむ役割を担うものとしてのあり方・家族のあり方を考えることができます。

2 幼児の親子プログラム

〈対象〉

・おおむね3歳～幼児と保護者 15組程度

〈目的〉

・保護者が、いのちをつなぎ、かけがえのないひとつのいのちを生み出した自らを肯定し、いのちをはぐくむ役割を担うものとしてのあり方・家族のあり方を考えることが出来ます。

・幼児が自身のセルフエスティーム(自尊感情)を培う事ができ、より豊かな人間関係を構築することができます。

3 小学校低学年児童のプログラム

〈対象〉

・小学1～3年の児童 30名程度

〈目的〉

・子どもたちが、自身のセルフエスティーム(自尊感情)を培う事ができ、より豊かな人間関係を構築することができます。

4 小学校低学年の親子プログラム

〈対象〉

・小学1～3年の児童と保護者 15組程度

〈目的〉

・保護者が、いのちをつなぎ、かけがえのないひとつのいのちを生みだした自らを肯定し、いのちをはぐくむ役割を担うものとしてのあり方・家族のあり方を考えることが出来ます。

・子どもたちが自身のセルフエスティーム(自尊感情)を培う事ができ、より豊かな人間関係の構築ができます。

・親子が互いをかけがえのない存在として尊重し、家庭内で親子のありかたやいのちをつなぐという意味を考える事ができます。

《実施可能日》この中から実施希望日を第3希望まで選び、実施申込書(別紙様式1)にご記入ください。

9月	25日(水)	26日(木)	28日(土)	30日(月)						
10月	6日(日)	21日(月)	23日(水)	24日(木)						
11月	17日(日)	18日(月)	23日(土)	27日(水)	28日(木)	29日(金)	30日(土)			
12月	1日(日)	4日(水)	6日(金)	8日(日)	21日(土)	22日(日)	25日(水)	26日(木)	27日(金)	28日(土)
1月	6日(月)	7日(火)	8日(水)	9日(木)						